

令和6年度春期 ITストラテジスト試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT人材教育研究部 2024,7,4

4月21日(日)に行われた令和6年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして、ITストラテジスト試験の分析コメントをお知らせします。

今回のITストラテジスト試験から、従来午後試験の出題範囲に含まれていた組込み・IoTシステム関連の内容がエンベデッドシステムスペシャリスト試験に移行し、午後Iと午後II試験の出題数がともに1問減って、それぞれ3問と2問になりました。

■ITストラテジスト試験試験 (ST)

[令和6年度春期 ITストラテジスト試験 統計情報]

応募者	7,486人
受験者	5,327人
合格者	842人
合格率	15.8%

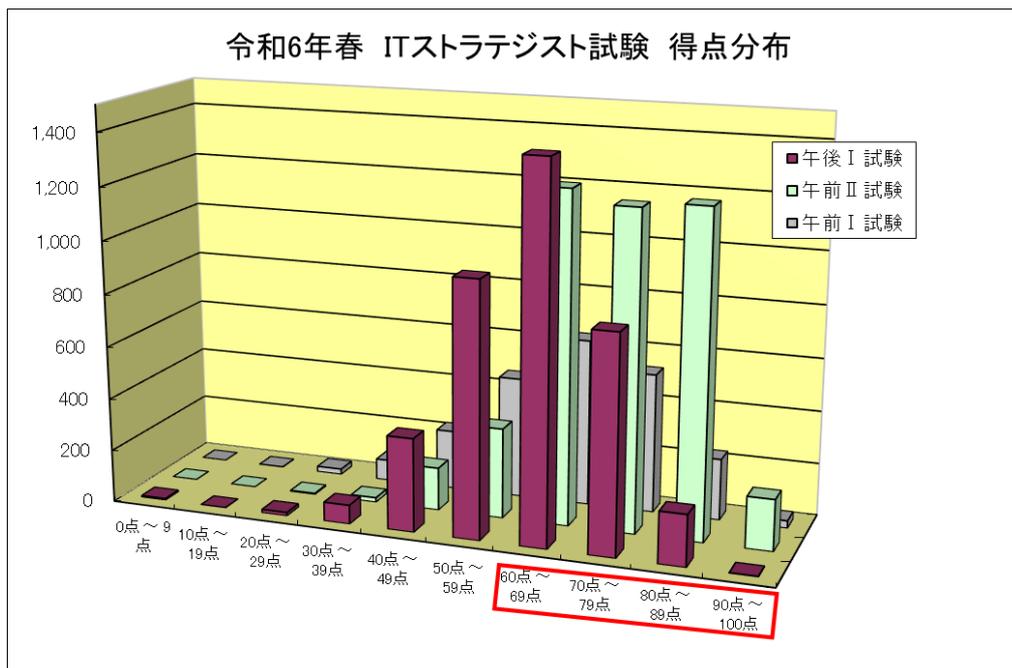
令和6年度春期のITストラテジスト試験の合格率は15.8%で前回の15.5%から微増ですが、平成21年度からの現試験制度では最も高い合格率です。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和6年度春期 ITストラテジスト試験 スコア分布]

得点	午前I試験	午前II試験	午後I試験	午後II試験	合格者
0点～9点	0	0	6	D 188	
10点～19点	1	0	1		
20点～29点	21	4	13	C 489	
30点～39点	80	17	72		
40点～49点	226	163	354	B 875	
50点～59点	460	342	959		
60点～69点	633	1,247	1,401	A 842	
70点～79点	528	1,197	816		
80点～89点	233	1,218	194		
90点～100点	28	194	2		
計	2,210	4,382	3,818	2,394	842
対前試験比率		198.3%	87.1%	62.7%	35.2%
午前I免除者(概数)	3,117	58.5%			

合格者数	842	採点者数の割合	合格者数との差
午前I 60点以上合計	1,422	64.3%	580
午前II 60点以上合計	3,856	88.0%	3,014
午後I 60点以上合計	2,413	63.2%	1,571
午後II-A評価	842	35.2%	0



午前I試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回 IT ストラテジスト午前I試験免除者は概算で3,117人(58.5%)で、約6割の人が午前IIからの受験となりました。

午前I試験で基準点(60点)以上の人は1,422人(受験者の64.3%)で、前回の63.9%から減っています。

午前II試験で基準点以上の人は3,856人(受験者の88.0%)で、前回の89.2%から少しだけ下がりましたが、かなり通過率になっています。

午後I試験で基準点(60点)以上の人は採点者の63.2%で、前回試験の66.6%から3%ほど減りました。

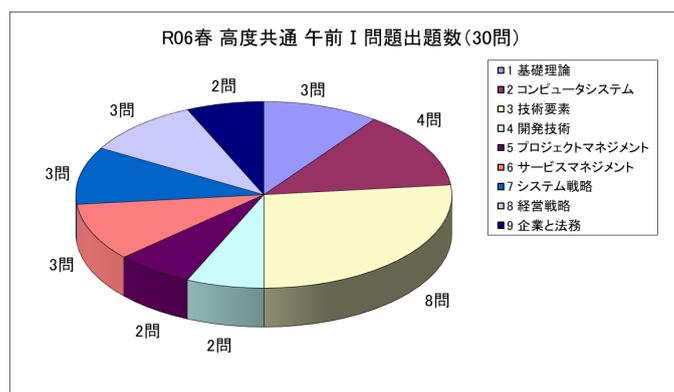
午後IIの論述式試験で合格点(A評価)を取ることができた人は採点対象者の35.2%で、前回試験31.8%から3%強増えました。

■令和6年度春期 ITストラテジスト試験 出題内容について

(午前I試験(高度試験の共通知識問題)) 30問出題/30問解答, 50分

高度試験で共通して出される午前I試験の30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験(AP)の午前試験80問の中から選ばれていて、テクノロジー系17問(57%) マネジメント系5問(17%) ストラテジ系8問(26%)という出題比率です。

午前I試験には免除制度がありますが、高度試験の約4~5割の人が午前I試験から受験しています。この中で60点以上の得点で午前II試験の採点に進む人は5~6割で、出題範囲が広いため試験問題を難しく感じる人がかなり多いといえます。難しい問題が多いときには4割程度の人しか通過できないときもあったので、最初の午前I試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識をつけていく



必要があります。

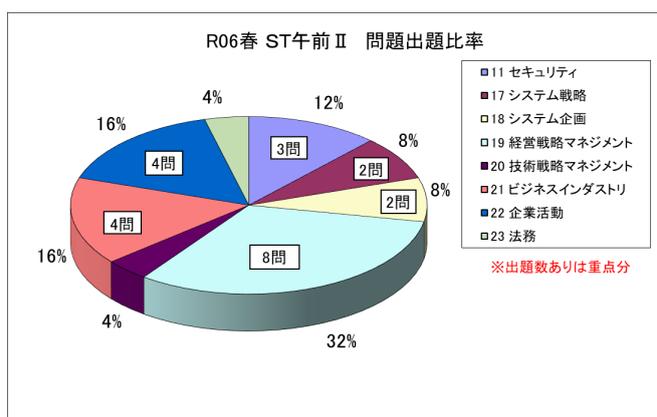
- ・今回の午前Ⅰ試験の内容は、約6割が過去問題でしたが、定番といえる問題が増え、前回より解きやすかったといえます。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問で、最も多い出題数です。
- ・新傾向問題は4問で前回の5問と大きく変わっていません。

〔午前Ⅱ試験（専門知識問題）〕 25 問出題／25 問解答，40 分

ITストラテジストの午前Ⅱ試験の重点出題分野は、システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、セキュリティの6分野ですが、今回の試験では経営戦略マネジメントが8問と最も多く、次がビジネスインダストリと企業活動の各4問です。

新傾向問題としては9問で、前回の4問から大きく増えています。ITストラテジスト試験では、IT業界で話題になっている事項については、いち早く理解しておく必要があります。

過去問題は全体の約6割ですが、ITストラテジスト試験の過去問題の出題は、9問あり、R4年の問題5問が最多でした。直近4回分ぐらいの過去の試験問題は重点的に理解しておきましょう。



〔午後Ⅰ試験（記述式）〕 3 問出題／2 問解答，90 分

今回の試験から組込み/IoTシステムの事例問題がなくなり、3問出題に変わりました。出題された内容は、3問ともDXの推進に関連した事例で、新しい内容も含んでいますが、3問とも身近な事業・業態で分かりやすいものが多かったといえます。その中で、問2の問題が少し理解しづらい内容が多かったといえます。

- ・問1 インターネットサービス事業者による総合金融サービス提供（ECサイト運営企業） 普通
- ・問2 地方新聞社におけるITを活用したビジネスモデル変革（地方新聞社） 普通～やや難
- ・問3 旅館のIT活用による業務改革（旅館） やや易～普通

〔午後Ⅱ試験（論述式）〕 2 問出題／1 問解答，120 分

今回の試験から組込み/IoTシステムの事例問題がなくなり、2問出題に変わりました。今回の午後Ⅱ問題内容は次のとおりで、2問ともITストラテジストとしての立案力を問う実務的なテーマで、実務経験ある人には論述しやすい内容だったといえます。

- ・問1 DX（デジタルトランスフォーメーション）の実現に向けた新たな情報技術の採用について
- ・問2 新しいビジネスモデルの策定について